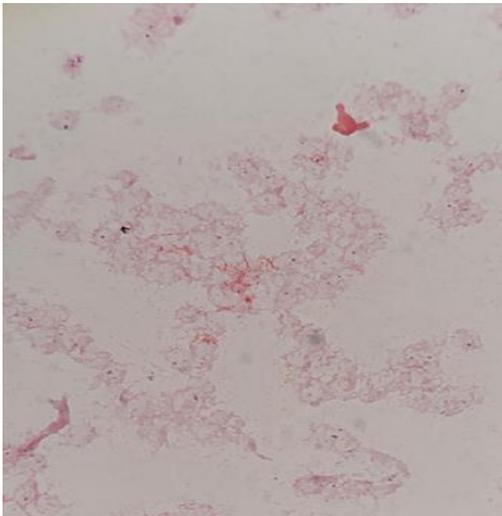


血液培養にて *Streptobacillus moniliformis* を確認

50歳男性 血液培養 発熱あり



グラム染色所見(×1000)



培地からのグラム染色所見(×1000)

・レンサ桿菌型の鼠咬症は、ストレプトバチルス・モニリフォルミス *Streptobacillus moniliformis* によって引き起こされる。この細菌は健康なハツカネズミ、クマネズミ、ドブネズミ、アレチネズミの口やのどに生息し、人への感染は野生やペットのネズミに咬まれたり引っかけられたりした際に起きる。稀ですが、この細菌を含んでいる無殺菌の牛乳を飲むことで感染する場合もある。原因菌を口から摂取することで発生したものは、ハーバーヒル熱と呼ばれる。

・血液ボトル内培養液を羊血液寒天培地に塗布し 36°C炭酸ガス培養にて、3日目で培地上に微小発育コロニーを確認。同定は質量分析で確定。

文責:霜島正浩